



嶋田壽夫《夏の大山》

アート格納庫M 特別展

嶋田壽夫作品 展示即売会

Hisao SHIMADA Exhibition & Sales

大山をはじめとする山々や山陰海岸を描いた作品を、お求めやすい価格にて販売いたします。
あなたのお部屋に、ふるさとの風景画を飾りませんか。

2025.2.2[日]~3.2[日]

入館料無料 原口典之の作品《Oil and Water》《Untitled FCS》(常設展示)
もご自由にご覧いただけます。

Exhibition & Sales Gallery
アート格納庫 M
MARUJU ART HANGAR
鳥取県倉吉市秋喜350-23

◆開館時間：10:00~17:00(入館は 16:30 まで)
◆休館日：火・水曜日(火・水曜日が祝日の場合はその翌日)
※3月より月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)に変わります

アート格納庫M 特別展 嶋田壽夫作品 展示即売会

シマダヒサオ

嶋田壽夫さんの事など

——『人』は多面体である。——と言った人があるかどうか知らないが、この頃つくづくそう思う。角度を変えてみると多様な見え方に気づき、どれが本質なのか迷う。たまたま入手した角度に拘らず距離を置いて見直してこそ、厚みのある認識が得られるらしい。

トシオさんとはばかり思っていました。「ヒサオだよ。」と間違いを指摘された記憶がありません。おおらかというか、他人行儀というか。

デザイン会社勤務当時の宝飾画を見せてもらいました。制作する人に指示をするためのカードのようで緻密で几帳面な、その後の油絵の風景画にも共通するもので、彼の人間性の根底にあるものと思われました。

Uターン後は、先輩であり親友である山本暉泰さんが帰省するたびに二人でバイクを連れ、大山をはじめとする山々や山陰海岸に写生に出かけたそうです。

高校などの教員勤めのかたわら、なじみ深い自然に包まれ、尊敬する親友と共に制作し、砂丘社というグループでの研修や発表の場があり、誠実に制作に臨んだ作品は、見る者の心を落ち着かせるのではないのでしょうか。

人間という多面体は、同時に時を経て変化もする。見るあるいは観る者と、見られる作品・物とのかかわり方は常に変化する。ともに多面体だから。

だから美術は、この世は味わい深い。

足立純子

(砂丘社同人・倉吉博物館友の会顧問・元鳥取短期大学助教授)



嶋田壽夫 SHIMADA Hisao (1940-2021) 略歴

1940年倉吉市生まれ。

武蔵野美術大学(短期)等でデザイン・工芸デザインなどを学び

旭貴宝(東京)で宝飾デザインを担当、1980年退社。

1981年～鳥取県内の高校、短大で講師を務める。

1988年砂丘社再興に参加。(2005年まで出品、2007年退会)

1988～1997年倉吉市市展デザイン部門審査員。

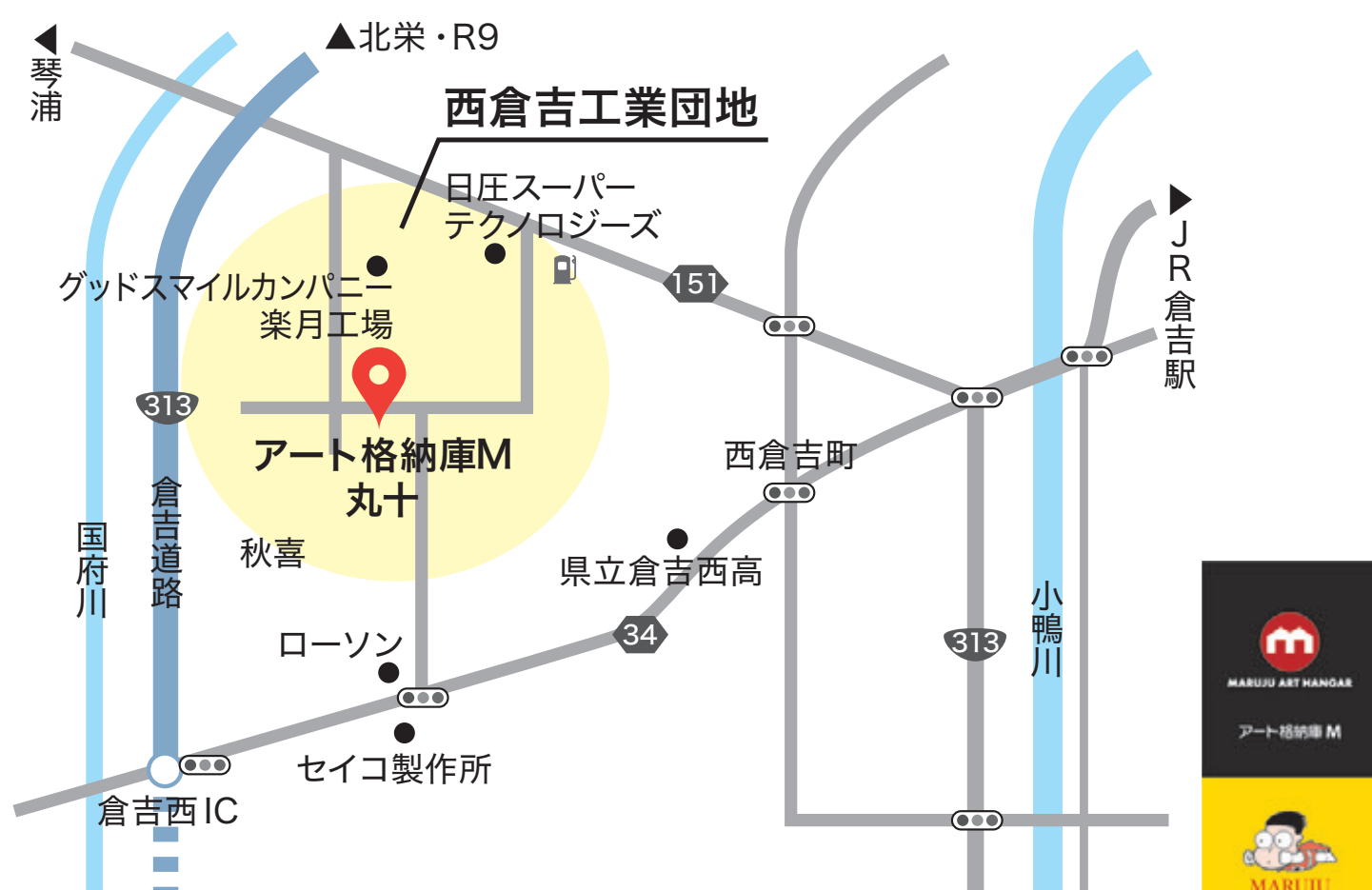
1990・91年山本暉泰・嶋田壽夫2人展開催(百花堂)。

2021年4月9日永眠(享年82歳)



- ◆開館時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで)
- ◆休館日：火・水曜日 (火・水曜日が祝日の場合はその翌日)
※3月より月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日) に変わります。
- ◆入館料：大人1000円 (県民800円)、学生800円 (県民600円)、中学生以下無料 (要保護者同伴)、その他各種割引あり。

株式会社 丸十 アート事業部
〒682-0925 鳥取県倉吉市秋喜 350-23
Tel:0858-48-2211 Fax:0858-48-2200
E-mail:info@arthangarm.com
<https://www.arthangarm.com>



【交通のご案内】 ◆車または観光バス
◎JR倉吉駅からタクシーで約15分
◎倉吉道路・倉吉西ICより約1km
◎県道34号線、または県道151号線から西倉吉工業団地内に入りください。黒色と黄色のタテ長の看板が目印です。

アート格納庫Mは鳥取県倉吉市で創業70年以上の歴史を持つ業務用品商社、株式会社丸十が運営する常設展示スペースと企画展示スペースを合わせた持つギャラリーです。会社に隣接する空き倉庫を改修し倉吉とゆかりのある原口典之の作品《Oil and Water》と《Untitled FCS》を“格納”するスペースとして構想。原口作品に隣接する企画展示スペースでは数ヶ月に一度展示替えを行い、若手アーティストや地元にゆかりのある作家の作品を中心に展示・販売を行います。バリアフリーになっておりますので、車椅子の方・お子様連れの方のご来場大歓迎です。